

# Face 顔

最後の大会で出場が叶う

「春高バレー」の愛称で知られる第66回全日本バレーボール高校選手権大会に群馬県男子代表で出場した桐生商業高等学校バレー部。このメンバーに細谷在住の鮫島巨、旬兄弟が入っています。兄の巨君は1年生からレギュラーとしてインターハイや国体などの全国大会にも出場しましたが「春高バレー」にはずっと出ることができませんでした。3年生の今年、夏のインターハイ県予選の決勝で逆転負けを喫し、部活動を引退するか迷いましたが、「春高」に出場することを目指して多くの3年生が部活動に残って11月の群馬県予選を戦いました。

兄弟そろってセンター



鮫島 巨君 旬君

## 厳しい練習の成果により 念願叶って春高バレーに出場

**Profile**  
さめじま・わたる、しゅん 細谷在住／兄弟で県立桐生商業高校バレー部に所属。群馬県大会で優勝して「春高バレー」に出場を果たす。兄の巨は3年生183cm。弟の旬は1年生182cm。



兄の巨君は中学からバレーを始めました。その時から身長が高かったため、中学校の先生に勧められたのがきっかけのようです。初めはなかなか試合に出ることができず、桐商バレー部に入ってから早く試合に出るために、学校の階段が昇れなくなるくらい毎日練習に打ち込んだそうです。そのかいあって1年生でセンター（ミドルブロッカー）のポジションをつかみ、国体の選抜選手にも選ばれました。

そんな兄を間近で見ていた弟の旬君も自然に中学でバレー部に入部し、桐商バレー部を目指し練習に励んだそうです。ただ、3年生の巨君と同じチームでは1年生の旬君は叱られ役の損な役回りになってしまいました。旬君も巨君と同じセンターのポジションなので、巨君が引退した後は自分がセンターのポジションを受け継ぎ、レギュラーになりたいと語ってくれました。

兄弟で出場した「春高バレー」、結果は残念ながら1回戦で敗退となってしまいました。巨君は高校バレーの3年間を終えて、「みんなが協力し合えば大きな力になること」「最後までやりぬくこと」を学んだと話し、「自分たちは1回戦で負けてしまったので、後輩たちにはぜひともその上を目指してほしい」と話してくれました。

ベンチですと応援していた旬君は「また春高バレーに必ず出る」、そして、新人戦で

ポジションをとってライバル校に勝つことを宣言してくれました。次の日曜日には「春高バレー」に出場した高校との練習試合が組まれているそうです。鮫島兄弟のこれからの活躍に期待しています。

■レポーター  
広報編集委員  
なか 中田 和男



東洋大学 食環境科学部  
食環境科学科  
高橋 珠実 准教授



■主な研究テーマ  
・心の健康、運動と健康、食と健康、環境と健康、健康スポーツ科学、老化とその予防

### 紙飛行機を用いた健康教育

紙飛行機は多くの人たちに遊びとして楽しまれ、世界大会まで開かれるスポーツ競技です。高橋准教授は、これを一教材としてとらえ、健康スポーツ、健康教育に関する内容の研究をしています。紙飛行機遊びは高齢者にとっては手先や頭を使い、体を動かすことで老化予防の効果が期待でき、子どもたちにとっては正確さと集中力の向上につながるなど、精神保健や健康の維持・増進に多くの効果が期待されています。

また、大学の授業でも紙飛行機遊びを行い、学生のストレス度の変化を調査し、ストレス軽減効果も研究しています。

### 健康について多角的に研究

高橋准教授は、環境と健康面では子どもたちの生活空間の放射線量率の測定の重要性を考え、公園や運動場、保育園、学校などの測定、また、内部被ばくの影響についての研究もされています。

また、健康管理においては、一般から競技者まで食と健康に関連した研究や食と心の健康について研究しています。授業ではスポーツ救急法演習で、板倉消防署員のかたとともに実技授業を行うなど、新たな試みを行ったそうです。

今後も「人間が生き生きとした人生を送る上で重要な心の健康に関する研究を子どもから高齢者までを対象に幅広く続けていきたい」と高橋准教授は話してくれました。

■レポーター 広報編集委員 高野 勝良

## 体の健康は心の健康から



みんなの

はがき・電話・FAX・Eメールでのご意見、ご質問、ご感想など「みんなの声」をお待ちしています！

**Q** 告発通知という文書が届きました

亡くなった夫宛てに、NPO法人を名乗る団体から「告発通知」という文書が届きました。驚いて差出人に電話をかける、「あなたの夫がビデオを買ったので告発される。今なら告発を取り下げることができると、お金を払うように」と言われました。心当たりはないのですが、故人の名を汚したくないという思いもあります。どうしたらよいでしょうか。  
(匿名希望)

**A** 絶対に支払っては いけません

NPO法人を名乗る団体や弁護士などから「違法なわけせつビデオ・DVDの購入者を告発する。取り下げてください」



い場合は連絡すること」などと書かれた文書が届いたという相談が寄せられています。

これらは、「違法」「告発」などの言葉を使い、不安をおおって電話をさせ、取り下げ料などの料金を請求する架空請求の手口です。

本人だけでなく、すでに死亡している配偶者や同居していない息子の宛名で送付され、確認が取れず一層不安に駆られる場合もありますが、心当たりが「ある」「ない」にかかわらず、絶対に連絡してはいけません。また、金銭を要求されても、決して支払わないでください。一度支払ったお金を取戻すのは非常に困難です。



困ったときは、消費生活センターにご相談ください。  
問合せ 消費生活センター  
82-7830  
(なやみなし)